

学校評価（保護者用：7月）

「学校の取組として児童の育成に効果が表れているもの」 の保護者コメントについて

学習指導・生活指導

- 読んでもらうのではなく、自分で読む読書を習慣化してくれているので、文章により興味をもつようになった。自分で考えた物語を作ったりして遊ぶようになった。
- すこやかカード。毎日の取り組みの中で、少しずつですができる内容が以前より増えており、本人の自信につながっているように感じています。
- 水泳の授業で、子供はまだ潜るのが精一杯なのですが、ひとりひとりのペースに合った過程を見てくださっているので、安心して焦らず自分なりに頑張っている様子です。
- 元気に、外遊びすること。
- 先生方のご指導のおかげで、子供が少しずつ落ち着いて過ごせるようになってきました。
- 先生方が非常に思慮深く温かく児童に接してくださるので、子供も思いやりのある子に育ちました。
「今日、先生がお休みだったけれど、明日は会えるかな」と担任の先生の体調を心配している子供を見て、親としてはほほえましいです。
「よく考える子 思いやりのある子 元気な子」、最後の一年、黒西の一員としてたくさんのことを吸収し成長していければと思います。
- 校長先生が暑い日も雨の日も毎朝校門に立って児童に「おはようございます」と挨拶されています。「いつも校長先生が校門で待っていてくれるんだよ。」と一年生の子供が言っていて知りました。
「挨拶は大事」と言葉で言うよりも、行動でしめす、すばらしいことだと思います。そういった先生の真摯な姿を見て、子供も自然と挨拶の大切さを身に付けています。学校教育のたまものと感謝しています。
- 挨拶や礼儀がちゃんとしていると思います。

A 子供たちは、「家庭でしつけ、学校で教え、地域で育てる」と言います。家庭・学校・地域で、共通の子供たちの望ましい成長の姿を思い描きながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切だと考えています。家庭での経験が学校での学習のきっかけになり、学校での学習の成果が地域での活動に生かされ、そしてそれが家庭に還元されていくようなつながりを今後ももっていきたいと思います。

開かれた教育活動

- 授業参観等、教室に保護者が入りきれていない。出席番号の奇数と偶数で保護者を分けて、子供の授業の様子を見られる環境を作ってもらいたい。
- 学校に行ってしまうと何が起きてどんな感情になったかなど、子供の話を聞く以外に分からないです。そのため、自分の子供がきちんと馴染めているのかなど、週報をとおしてクラスの雰囲気を知ることが出来ます。心の成長や周りの人との共同生活をとおしての成長を教えてもらう貴重な時間になっています。また子供との会話のネタにもなり、伝える力、聞く力につながっているように感じています。

A 子供たちは、良い意味で、気持ちが落ち着けて安心できる家庭と、社会勉強の場である学校での振る舞いを使い分けて生活をしています。学校での子供たちの姿に家庭との違いを感じることも多々あることと思います。ぜひ、そんな子供たちががんばっている姿を見ていただき、次への意欲につながる声掛けをしていただけると幸いです。
今後も、そのような機会を検討していきたいと思います。